雪の棒道・シジュウカイク 鹿の群れと出会う

冬の小淵沢は晴れた日が多く、雪はあまり降りませんが、年に３、４回雪が積もった時はまったく違った世界が広がります。２月４日、そんな雪の積もった日に、ペンションの仲間とお客様と一緒に信玄棒道を歩きました。

八ヶ岳の上のほうは大雪で、食べるものが無くなった鹿たちが、たくさん下のほうへおりてきていて、雪の棒道はそんな鹿ウォッチング・スノーハイキングになりました。雪道を歩く新兵器・スノーシューも大活躍しました。

2月4日　小淵沢ペンション振興会の山歩き、ウォーキング好き仲間が、それぞれのペンションのおなじみさんに声をかけて、冬の棒道ウォーキングを企画しました。今年は1月に雪が多く、棒道も雪に埋もれていましたが、この日の数日前に有志が、雪を踏み固める作業をしてくれて、棒道は一筋のトレースがついていて、歩きやすくなっています。

午前10時、棒道のすこし南側にある地域センターに集合。雪の山野を歩くためのスノーシューを持っている人、長靴の人など、みんな思い思いの装備で集まりました。

私と夫はクロスカントリーの道具を持って集合しましたが、雪が少し固くなっていたので、板はつけずに先頭グループが踏み固めた跡を普段の登山靴で歩きました。ふみ跡をはずすと膝あたりまでズボッともぐってしまい、初めのうちは、なかなかうまく歩けなかったのですが、しばらくすると歩き方にもなれて、普段とはまったく違う棒道の風景に目が行くようになってきました。

歩き始めは、進行方向右手に小淵沢カントリークラブのフェンスが続きます。左手は八ヶ岳の県営牧場へ続くカラマツ林が広がっています。右手のフェンス沿いに植えられたカラマツ越しに南アルプスの峰々が雪をかぶって白く輝いています。

この足跡は？

歩き始めは夏草がきれいに刈られ、道も広く見晴らしもあって、みんな快適に歩いていきました。八ヶ岳から流れてくる沢にかかった新しい木製の橋を渡ると道が狭くなって、林の中の道になります。両側の木々が枝に積もった雪の重みで垂れ下がり、ちょうど雪のトンネルのようになっています。所々に、雪の中を歩いたウサギや鹿の足跡を見つけて、すぐに屋外研修会の開催です。

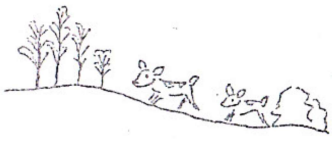
「ウサギの足跡は、前足を、後ろ足の間にはさむようにしてぴょんぴょんはねて歩くから、楕円の後ろ足の後ろに小さな前足の跡がつくのよ」と物知りの方の説明にうなずく参加者。

おおっ！　ひとつ勉強になりました！

このあたりに来ると、八ヶ岳側の林の中から棒道を横切ってゴルフ場のフェンスに向かって、いく筋もの足跡がついていました。

「雪が多く積もると八ヶ岳には餌がなくなって、上から鹿が降りてくるんです」

２ｍ近い金網と20ｃｍ位の幅で鉄条網が張ってあるフェンスを飛び越えてゴルフ場の中へ入り、ゴルフ場内の幼木の芽や皮を食べるようです。鉄条網には飛び越えたときに引っかかった鹿の毛がいっぱい残っていました。

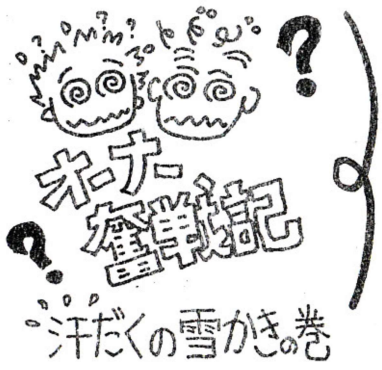


居ました！

少し見晴らしの良い左手の林の奥に五～六頭の群れがじっとこちらを見ています。しばらくしで、森の奥へ駆け去っていきました。

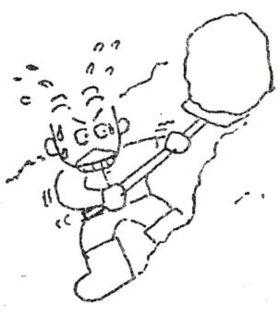
このあたりの棒道は林の中の道で、木々の間を鳥たちもいっぱい飛び交っています。シジュウカラ、ヤマガラたちは一時もじっとしていません。木々の間をせわしなく飛び回っています。少し大きな鳥はカケス。ゆったりと飛ぶ姿は風切羽の紺色が目に染みるようでとても美しい。積もった雪で当たり一面真っ白な中に鮮やかな紺色がひときわ映えて素敵です。

鹿や小鳥たちにたくさん遭えてすこし興奮状態の一行、しばらく林の中を行くとゴルフ場のはずれに出ました。棒道へつづく



1月27日は小淵沢では珍しく大雪がふりました。午後から降り出した雪はみるみる積もりだし、もう50ｃｍ！・・　70・・　1ｍ！と、ぼーっと窓の外を眺め続ける私たちでした。そう、お客様のいるペンションは降りしきる雪の中、必死で雪かきをしていたのですが、風路はお客様のいないのをいいことに雪見に休養を決め込んでいたのです・・。

そして次の朝！　外は輝く一面の銀世界！　さあ、外へ飛びだ・せない！　腰まで埋まる雪には長靴などなんの役にもたちません。道路まで出られる道を作らないと陸の孤島になってしまう！　玄関脇に立てかけておいた雪かきでせっせと交代で雪かきをします。　そうだ、裏にもう一本雪かきがあったぞ・・でもどうやって取りに行こう？　クロカンの板をはいていけば？



というわけで、物入から板と靴を引っ張り出し、もののしい格好で５ｍほど離れた裏の物置き場までたどりつきました。大成功！

二本の雪かきで汗だくになってなんとか道路まで細い道を作りました。それから半分埋まった車を掘り出しました。

これでこの日は一日終わりました。

うー、こ、腰が痛っ・・

表からつづく

道はそのままっすぐに続いていて、下から上がってくる小道との交差点・T宇路になっているところで小休止。

右手がゴルフ場・金網のフェンス、左手にはサントリーウイスキーを寝かせている大きな倉庫・エージングセラーの金網のフェンスで、その間を直線の道が続いています。

スノーシューはすごい

ここより少し前から私はスノーシューを借りて、試歩しました。皆が歩いたトレースはボコボコしていてとても歩きづらく、あっという間に最後尾、前の人との距離がどんどん離れてしまいました。

ゴルフ場のフェンスが途切れるあたりで先に行った人たちが騒いでいます。「何だろう？」気持ちは焦りますが、スノーシューを履いた足が思うように進みません。

トレースは踏み固められてホコボコで歩き辛いので、そこからはずれて新雪のところを歩いてみました。すると、どうでしょう！　新雪がちょうど雪のクッションのようにフカフカでスノーシューはわずかにもぐるだけでとても快適に歩くことができます。ザッザッと勢いよく皆と合流できました。

こんなに近くに！

皆が騒いでいたのは、ゴルフ場の端に鹿の群れがいたからでした。私たちの一行が歩いてきたのでゴルフ場のフェンス沿いに逃げてきた鹿たちはちょうどフェンスの隅に追い込まれた状態になってしまっていたのです。大きな親鹿から小さな子鹿まで20頭くらいの群れだったでしょうか。一目散で私たちと反対側のゴルフ場の中へ走り去って行きました。

最後尾を歩いていた私は鹿の姿は見ることができたのですが、デジカメを取り出すのにもたもたしていて、カメラに写っていたのはフェンスだけでした

・・・

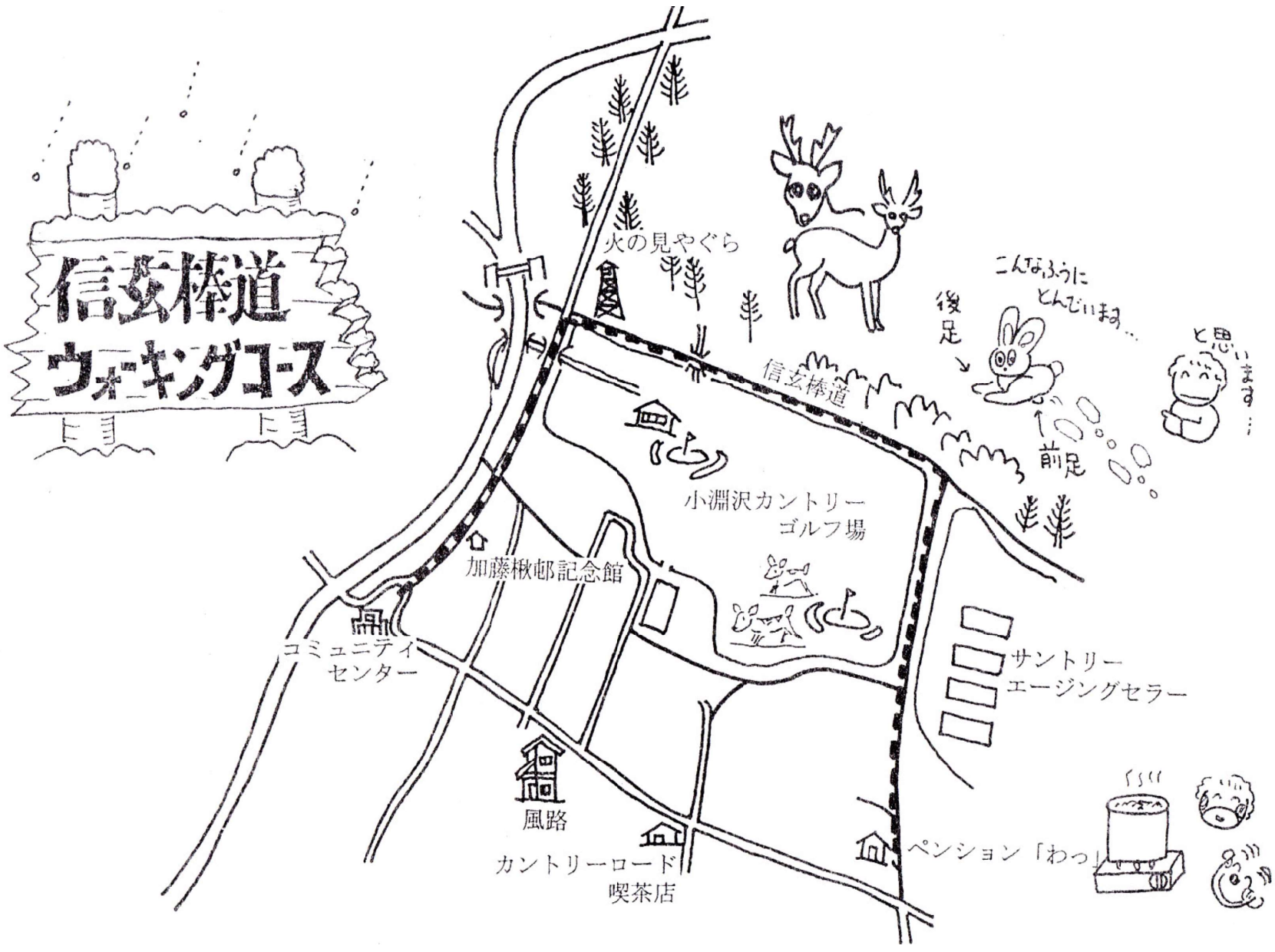
芯から暖まる豚汁

赤松の林を抜けるとペンション「わっ！」の脇に出ました。ここで今日のウォーキングは終了。雪の上に大きなビニールシートを敷いて楽しいランチタイムです。

大きな寸胴にいっぱいに作った豚汁がふつふつと温まって皆を待っていました。摩り下ろしたショウガをたっぷり入れた豚汁が体の芯から暖めてくれました。

たくさんの鹿や小鳥たちとの出会い。一面の銀世界。雪の信玄棒道は、普段の姿とまたく違う面を見せてくれました。

大体のコースタイム

コミュニティセンター10時―火の見やぐら10時20分（スノーシューをつける）―T宇路11時―ペンション「わっ」11時30分

雪のない時に比べ、倍ぐらいの時間がかかりました。